

安全データシート

作成: 2017年 7月11日

改訂: 2024年 5月24日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KF105-05
製品名 : エコフィット
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性 : 皮膚腐食性/刺激性 : 区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分1(血液、呼吸器系)
環境に対する有害性 : 水生環境有害性 短期(急性) : 区分3

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- ・重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
- ・重篤な眼の損傷
- ・臓器(血液、呼吸器系)の障害
- ・水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・環境への放出を避けること。

【応急処置】

- ・飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
- ・皮膚又は髪に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

【保管】

・施錠して保管すること。

【廃棄】

・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名／一般名：酢酸、Ethanoic acid

成分及び含有量：酢酸(醸造酢) 15.0%

化学式： $C_2H_4O_2$ / 酢酸

官報公示整理番号： 化審法 2-688 酢酸

CAS No.: 64-19-7 / 酢酸

4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で15分以上洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を多量の水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹼を使って洗浄する。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。汚染された衣類や保護具を取り除く。多量に吸入した場合は、すぐには何も症状が認められなくても必ず医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

予想される急性症状及び遅発性症状：酢酸について、以下の情報が知られている。(国際化学物質安全性カード(ICSC))

吸入：咽頭痛、咳、灼熱感、頭痛、めまい、息切れ、息苦しさ

皮膚：痛み、発赤、水疱、皮膚熱傷

眼：充血、痛み、重度の熱傷、視力喪失

経口摂取：腹痛、灼熱感、ショック/虚脱、咽頭痛、嘔吐

5. 火災時の措置

適切な消火剤：水、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器及び乾燥砂。

使ってはならない消火剤：情報なし

消火活動上の注意：燃焼又は高温により有毒なガスが生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。液体の場合、燃焼源の供給を速やかに止める。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：屋内の作業の際には十分に換気を行う。作業の際には保護具(8.ばく露防止及び保護措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、飛沫を口に入れたり吸入しないようにする。

環境に対する注意事項：流出した製品が河川に影響を及ぼさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意：秤量等の取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに蒸気や飛沫を発生させない。発散した蒸気を吸い込まないようにし、取り扱いの都度、容器を密閉する。

火災・爆発の防止：周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

保管上の注意：直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：設定されていない

許容濃度：酢酸 TLV-TWA(10ppm)、STEL(15ppm) ACGIH(2010年)

酢酸 10ppm、25mg/m³ 日本産業衛生学会(2023年)

設備対策：取り扱いについては、局所排気装置を併用する。有害物が環境中へ放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための施設を設けることが望ましい。

保護具：呼吸用保護具：防毒マスク(例：JIS T8151、JIS T8152に適合する防じんマスク、有機ガス用防毒マスク等)

保護手袋：ゴム手袋

保護眼鏡：側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型

保護衣：作業着、帽子、保護服(不浸透性)等

9. 物理的及び化学的性質

外観等	： 無色透明水溶性液体
臭い	： 刺激臭
pH (原液)	： 2.0～2.8
融点／凝固点	： データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	： データなし
引火点	： データなし(但し、引火性液体である酢酸を含む)
自然発火点	： データなし
可燃性	： データなし
爆発下限及び爆発限界上限／可燃範囲	： データなし
相対ガス密度	： データなし
蒸気圧	： データなし
密度及び／又は相対密度	： 1.020～1.030(比重)
溶解度	： 水に易溶
n-オクタノール／水分配係数(log値)	： データなし
分解温度	： データなし
動粘性率	： データなし
粒子性状	： データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	： 通常の保管環境下で安定
反応性	： データなし
危険有害反応可能性	： データなし
避けるべき条件	： データなし
混触危険物質	： データなし
危険有害な分解生成物	： データなし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	： 酢酸は区分5に分類されるが、ガイダンスに従い「区分に該当しない」とした。 (参考) 酢酸 LD ₅₀ (ラット) 3,310 mg/kg
急性毒性(経皮)	： 酢酸は区分4に分類されるが、ガイダンスに従い「区分に該当しない」とした。 (参考) 酢酸 LD ₅₀ (ウサギ) 1,060 mg/kg
急性毒性(吸入:ミスト)	： データ不足により「分類できない」とした。 (参考) 酢酸 LD ₅₀ (ラット) ≥16,000 ppm(蒸気)
皮膚腐食性／刺激性	： 酢酸は区分1に分類されるためガイダンスに従い「区分1」とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	： 酢酸は区分1に分類されるためガイダンスに従い「区分1」とした。
呼吸器感作性	： データ不足により「分類できない」とした。
皮膚感作性	： データ不足により「分類できない」とした。
生殖細胞変異原性	： データ不足により「分類できない」とした。
発がん性	： データ不足により「分類できない」とした。

生殖毒性	: データ不足により「分類できない」とした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分1(血液、呼吸器系)に分類される酢酸を $\geq 10\%$ 含むためガイダンスに従い、「区分1(血液、呼吸器系)」とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データ不足により「分類できない」とした。
誤えん有害性	: データ不足により「分類できない」とした。

12. 環境影響情報

混合物としてのデータは無いが、以下の情報から水生環境有害性 短期(急性)は「区分3」、水生環境有害性 長期(慢性)は「区分に該当しない」とした。

生態毒性	
甲殻類(オオミジンコ) EC_{50}	: 65mg/L (48時間)
残留性・分解性	: BODによる分解度 = 74% (酢酸、既存化学物質安全性点検データ)
生体蓄積性	: n-オクタノール/水分分配係数 $\log Pow = -0.017$ (酢酸) (酢酸、Physprop database(2005))
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
その他	:

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

移送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。移送取り扱いは丁寧に行う。

国連分類	: クラス8(腐食性物質) 容器等級Ⅲ
国連番号	: 2790(酢酸溶液、濃度が10%質量を超え50%質量未満の液体)
国内規制	
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
陸上規制情報	: 道路法、消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法律の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号	: 153(酢酸を10質量%を超えて80重量%以下を含む溶液)

15. 適用法令

農薬取締法	: 登録番号 第23862号
消防法	: 非該当
労働安全衛生法	
施行令第18条、第18条の2(表示、通知対象物質)	: 酢酸(政令番号176)
安衛則第594条の2(不浸透性の保護具等、適切な保護具使用の義務)	: 皮膚刺激性有害物質 酢酸
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 該当しない
毒物及び劇物取締法	: 非該当
船舶安全法	: 腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)(酢酸として)
航空法	: 腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)(酢酸として)

16. その他の情報

本製品は「醸造酢」ですが、主成分の「酢酸」のデータも参照して作成しています。

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証

をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献：
- 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
 - 2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
 - 3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会
 - 4) GHS文書 改訂第6版(2015年)
 - 5) NITE-CHRIP 有害性・リスク評価情報
 - 6) 厚労省 GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報「職場のあんぜんサイト」
 - 7) 原料メーカー提供「安全データシート」

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪（年中無休、24時間）	一般市民向け相談電話（無料）	072-727-2499
	医療機関専用有料電話	072-726-9923
つくば（年中無休、24時間）	一般市民向け相談電話（無料）	029-852-9999
	医療機関専用有料電話	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。